

きれい★プロの目

私はこうして
電気事故を防いだ!



ヒューズタイプの配電函内部 で焼損を発見

点検対象	一般家庭	点検地区	訓子府町
きれいポイント	定期調査で訪問したお客さまの倉庫内の動力設備を点検した時のことです。 主開閉器で絶縁抵抗を測定したところ絶縁不良ではありませんでしたが良好と言える測定値でもありませんでした。 そこで、分岐回路を調査したところ、物陰にヒューズタイプの配電函を見つけ、蓋を開けて見ると内部が焼損していました。		

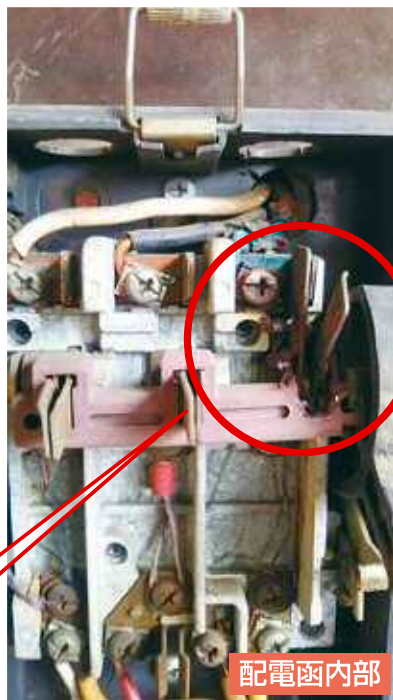
■事故概要と防止対策

お客さまに問題の配電函を見ていただき、内部が焼損していることと、定格のヒューズではなく三相とも電線が取り付けられており、機器の故障や火災になりかねない大変危険な状態であることを説明しました。

ただちに使用の中止と早急な配電函の取り替えをお願いしました。



焼損していた部分



配電函内部



ヒューズタイプの
配電函

■技術者からのワンポイントアドバイス

今回は不良箇所を発見することが出来て最悪な事態には至りませんでした。お客さま自身が自宅設備（分電盤、引込開閉器、温水器用開閉器等）の状態を完全に把握していない場合も多くみられます。

4年に一度の定期調査ですが、点検にお伺いした時は日頃から気になっていることなど遠慮なくご相談ください。



北見支部 調査課
佐藤 裕人